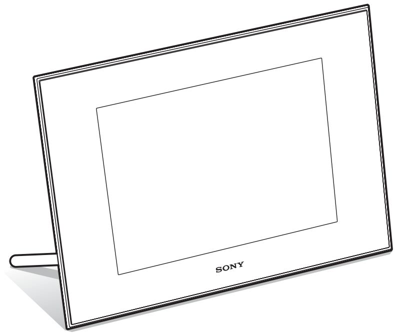
SONY

4-259-436-**03**(1)

デジタルフォト フレーム

DPF-XR100/XR80/VR100



デジタルフォトフレーム　ハンドブック

S-Frame

目次

はじめに

使ってみよう（基本編）

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

コンピュータを使う

エラーメッセージ一覧

困ったときは

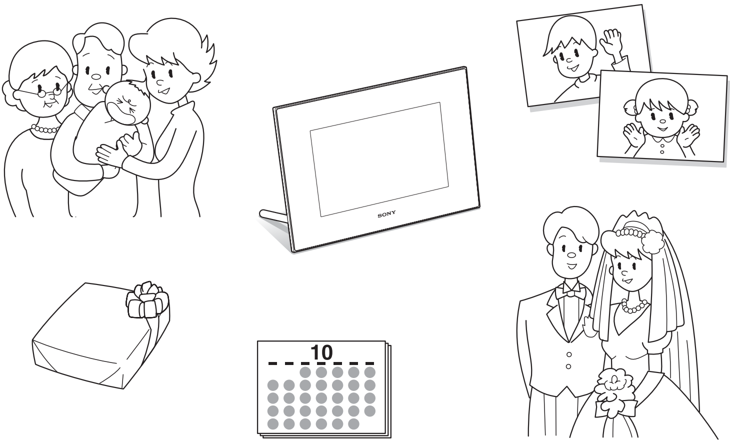
その他

本書のイラスト、画面表示について

特に説明が必要な所を除き、DPF-XR100 を使用しています。
また、本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。

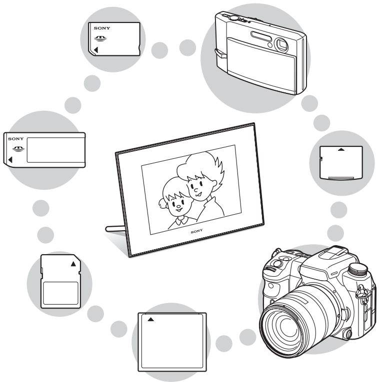
楽しみかたいろいろ、フォトフレーム

ソニーデジタルフォトフレーム DPF-XR100/XR80/VR100 は、デジタルカメラなどで撮影した画像を、コンピューターを使用せずに簡単にディスプレイに表示できるデジタルフォトフレームです。



特長

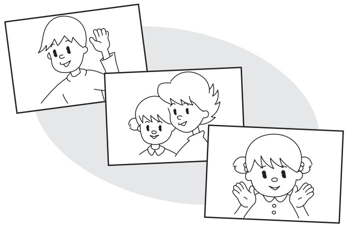
- **さまざまなメモリーカードに対応 ***
  “ メモリースティック ”、コンパクトフラッシュカード、SD メモリーカード、xD-Picture Card、USB メモリーなど様々なメモリーカードや外部機器に対応しています。デジタルカメラから取りはずしたメモリーカードをそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。（15 ページ、60 ページ）



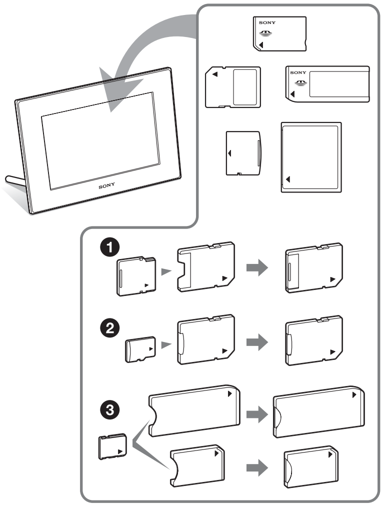
- **さまざまな表示機能**
  スライドショー、時計・カレンダー、一枚表示、インデックスを色々なスタイルで表示できます。（16 ページ）



- **多彩なスライドショー**
  まるでアルバムをめくるように、自動的に画像を切り換えて表示します。時計やカレンダーをモチーフとしたスライドショーを含め、複数のスタイルから選べます。また、再生順など、再生条件の設定ができます。（24 ページ）



- **画像を内蔵メモリーに取り込む**
  メモリーカードの画像を内蔵メモリーに取り込むことができます。（30 ページ）

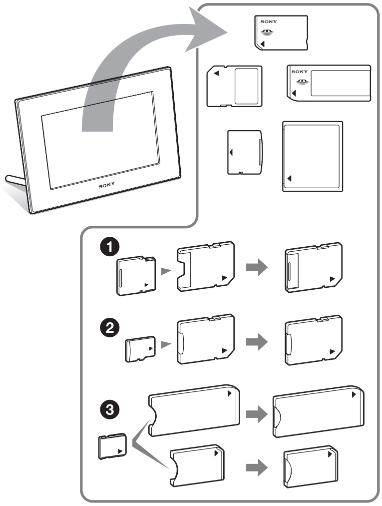


* miniSD/miniSDHC❶、microSD/microSDHC❷ または“メモリースティック マイクロ”❸ をお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。

はじめに

次のページにつづく

- **画像の書き出し**
  画像の書き出し機能により、内蔵メモリー内の画像をメモリーカードに書き出せます。（33 ページ）

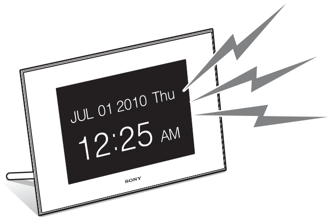


* miniSD/miniSDHC❶、microSD/microSDHC❷ または“メモリースティック マイクロ”❸ をお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。

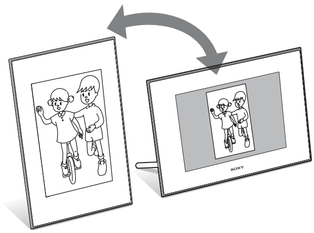
- **動画再生／音楽（BGM）再生**
  写真を見るだけでなく、デジタルカメラで撮った動画を再生したり、思い出の曲を BGM に写真や動画を再生したりして楽しむことができます。楽しかった思い出がより鮮明によみがえります。（22、27 ページ）

- **絞り込み機能**
  イベント、フォルダー、縦写真／横写真、マーク、動画／写真からお好みの画像を絞り込むことができます。（37 ページ）

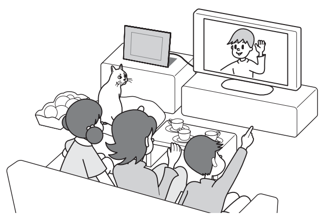
- **アラーム機能**
  指定した時刻・曜日に音と画面でお知らせします。（41 ページ）



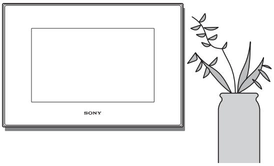
- **縦置き、横置き自由自在**
  傾斜センサーにより、フレームの置きかた（縦置き、横置き）に連動して、表示が自動的に回転します。（12 ページ）



- **ハイビジョンテレビに接続し、音楽に合わせて大画面で画像を表示（DPF-XR100/XR80 のみ）**
  本機は、HDMI OUT 端子を装備しており、ハイビジョンテレビにつなぎ、メモリーカード、外部機器、内蔵メモリーの画像を音楽に合わせて、大画面でお楽しみいただけます。（47 ページ）



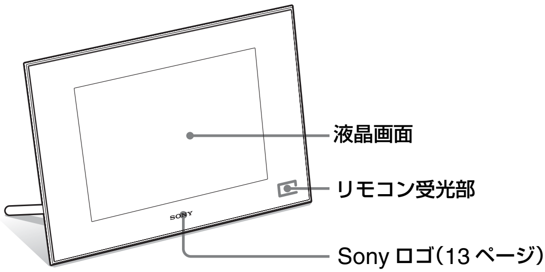
- **壁掛け対応**
  本機を壁掛けにしてお楽しみいただけます。（取扱説明書、「スタンドー壁にかけて使用する」）



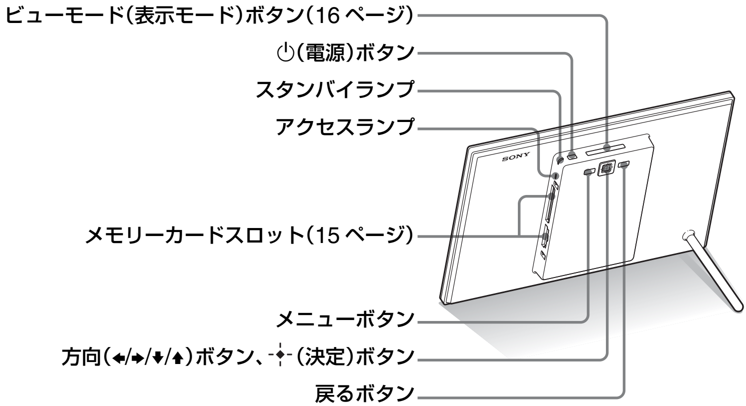
各部の名前

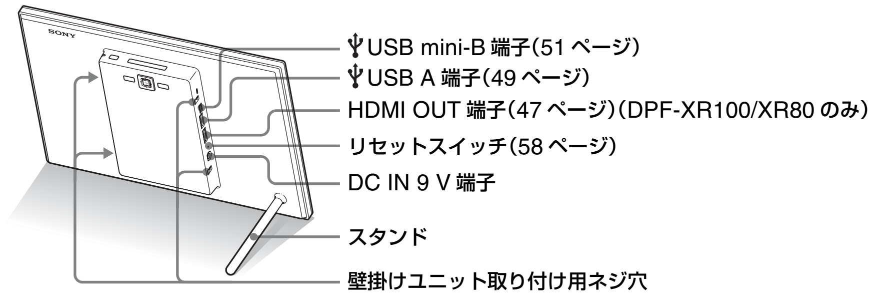
■ デジタルフォトフレーム

本体前面

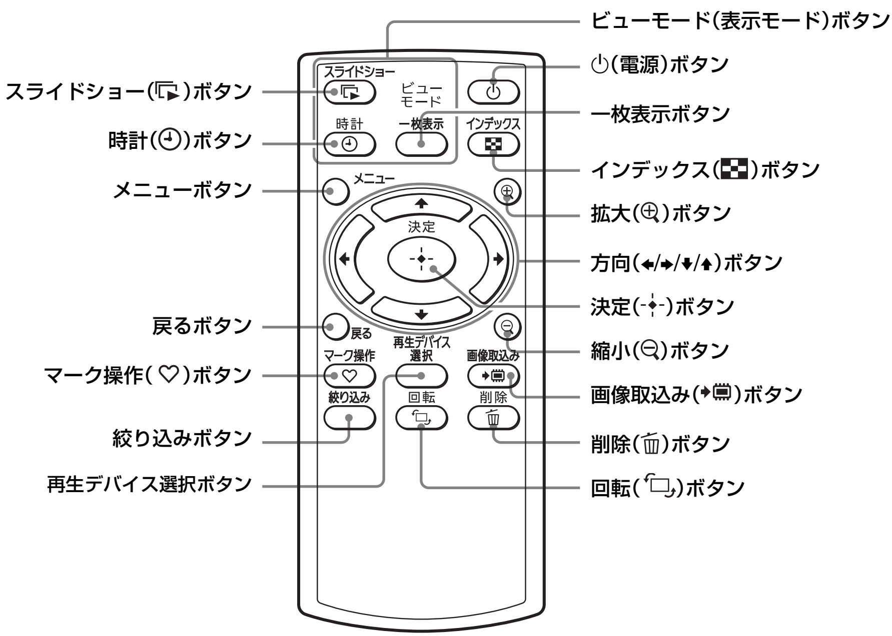


本体背面





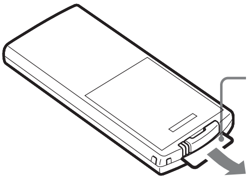
■ リモコン



本書での説明について
ハンドブック内の操作は、リモコン操作を基本に説明しています。リモコンと本体ボタンで操作が異なる場合は、「ちょっと一言」で説明をしています。

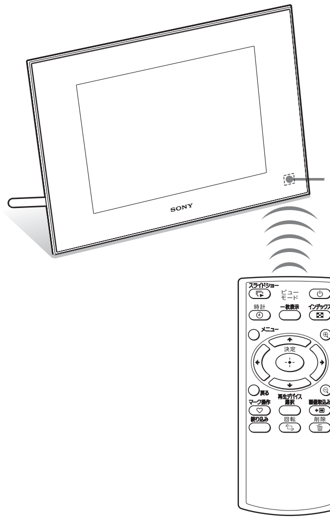
リモコンを準備する

付属のリチウム電池（CR2025）があらかじめリモコンの中に入っています。図のように保護シートを引き抜いてから使用してください。



リモコンを使うときは

リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



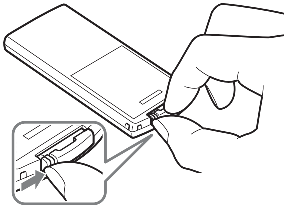
ご注意

壁にかけてご使用の際、本体上のボタンで操作すると落下のおそれがあります。必ずリモコンで操作してください。

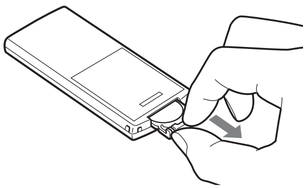
リモコンの電池を交換するときは

リモコンが動作しなくなったら、新しい電池（CR2025 リチウム電池）に交換してください。

1 タブを内側に押す。



2 電池ホルダーを引き出す。



3 新しい電池を入れ、電池ホルダーを元どおりリモコンに挿入する。

電池の＋が上になるように入れてください。

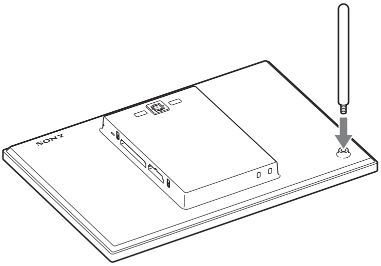
ご注意

- 指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。
- 使用済みの電池は、自治体の定めた方法で処分してください。
- 高温多湿の場所にリモコンを放置しないでください。
- 電池の交換時などに、リモコン内部に異物が入らないようにしてください。

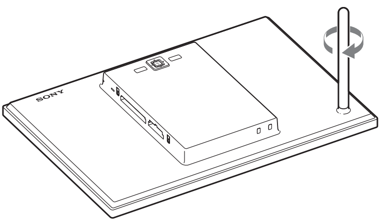
- 電池は正しく使わないと、液漏れや腐敗のおそれがあります。
  – 充電はしないでください。
  – リモコンを長期間使用しないときは、液漏れや腐敗を防ぐため、電池をリモコンから抜いてください。
  – 間違った入れかたをしたり、ショートさせたり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。

スタンドをセットする

1 **本機を固定し、背面のネジ穴に対してまっすぐにスタンドを差し込む。**

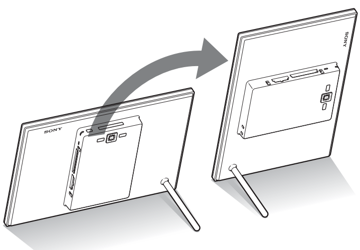


2 **スタンドが回らなくなるまでネジ穴にしっかりとねじ込む。**

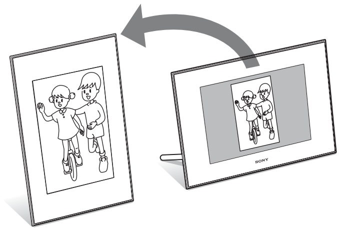


縦または横にする

本機は、スタンド部を動かさずに、本体を回転させることにより、縦横どちらでもセットすることができます。



縦にして、操作ボタンが左にくるようにすると、表示も自動的に縦に表示されます。また、本体背面の方向ボタンの操作方向も本体の向きに連動します。



ご注意

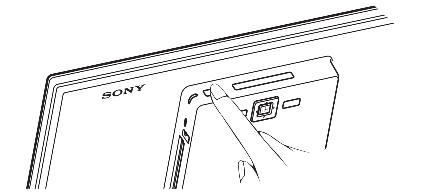
- スタンドが安定しているかどうかご確認ください。中途半端な状態で立てると、倒れる場合があります。
- 縦置き、電源OFFのときにはSonyロゴは点灯しません。
- 手動で画像を回転させることもできます。(39ページ)
- (設定)タブの[本体設定]の[自動縦横判別]が[OFF]に設定されていると縦横の自動切り換えを実行しません。
- 動画は、フレームの向きを置き換えても表示は回転しません。
- スタンドを取りはずすときに滑ってまわしにくい場合は、輪ゴムなどを巻くとスタンドを回しやすくなります。

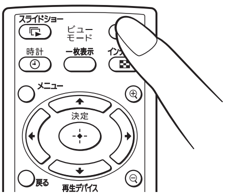
電源を入れる

すでに本機に電源をつなぎ、電源が入っている場合、ここでの操作は不要です。

電源を入れる

本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを押します。本体のスタンバイランプが赤から緑に変わります。本体前面の Sony ロゴが点灯します。





電源を切る

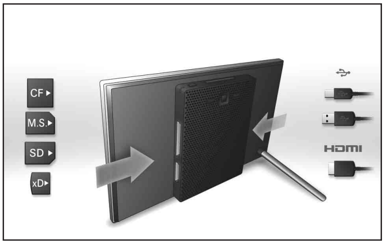
本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを電源が切れるまで押し続けます。本体のスタンバイランプが緑から赤に変わります。

ご注意

スタンバイランプが赤に変わる前に、AC アダプターをコンセントや DC IN 9V 端子から抜かないでください。故障の原因となることがあります。

初期画面について

メモリーカードや外部機器を接続しないで電源を入れると、下の初期画面が表示されます。



何も操作せずに一定時間が経過すると、デモモードが表示されます。デモモードで電源以外のボタンを押すと、初期画面に戻ります。
まずはじめに、初期画面でメニューボタンを押して、メニュー画面から日時を設定してください。

時刻を設定する

1 **メニューボタンを押す。**

2 **←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。**

3 **↓/↑ ボタンで［時計設定］を選び、-◆- ボタンを押す。**



4 **世界時計を設定する。**

①↓/↑ ボタンで［世界時計設定］を選び、-◆- ボタンを押す。

②↓/↑ ボタンで［現在地タイムゾーン］を選び、-◆- ボタンを押す。

③↓/↑ ボタンでお住まいの地域を選び、-◆- ボタンを押す。

④↓/↑ ボタンで［現在地サマータイム］を選び、-◆- ボタンを押す。

⑤↓/↑ ボタンで［ON］または［OFF］を選び、-◆- ボタンを押す。

⑥戻るボタンを押す。

現在地の時計以外に、世界のその他の地域の時計を 3 つまで設定できます。設定する場合は、②～⑤ の手順で［時計 1 タイムゾーン］、［時計 2 タイムゾーン］、［時計 3 タイムゾーン］と、それぞれのサマータイムを設定します。

5 **日付を合わせる。**

①↓/↑ ボタンで［日付］を選び、-◆- ボタンを押す。

②←/→ ボタンで年、月、日を選び、↓/↑ ボタンで数値を設定し、-◆- ボタンを押す。

6 **時間を合わせる。**

①↓/↑ ボタンで［時刻］を選び、-◆- ボタンを押す。

②←/→ ボタンで時、分、秒を選び、↓/↑ ボタンで数値を設定し、-◆- ボタンを押す。

7 **日付の書式を選ぶ。**

①↓/↑ ボタンで［日付表示順］を選び、-◆- ボタンを押す。

②↓/↑ ボタンで書式を選び、-◆- ボタンを押す。

- 年 - 月 - 日
- 月 - 日 - 年
- 日 - 月 - 年

8 **カレンダーの開始曜日を設定する。**

カレンダー表示時にカレンダーの左端の曜日を設定することができます。

①↓/↑ ボタンで［開始曜日］を選び、-◆- ボタンを押す。

②↓/↑ ボタンで［日曜日］または［月曜日］を選び、-◆- ボタンを押す。

9 **時間表示を選ぶ。**

①↓/↑ ボタンで［12 時間・24 時間表示］を選び、-◆- ボタンを押す。

②↓/↑ ボタンで時間表示を選び、-◆- ボタンを押す。

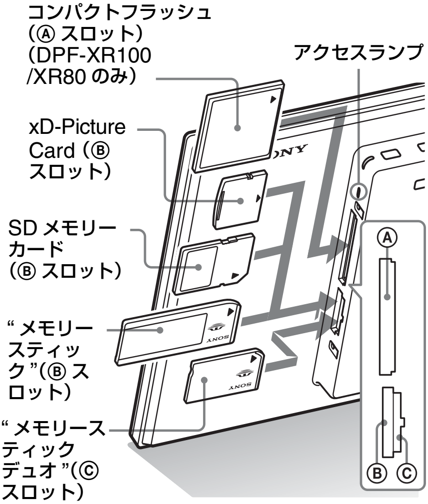
10 **メニューボタンを押す。**

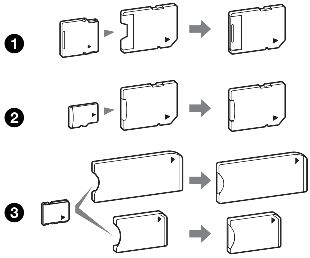
メニュー画面が終了します。

メモリーカードを入れる

本体背面から見て、メモリーカードの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れる。

メモリーカードが正しく挿入されると、アクセスランプが点滅します。アクセスランプが点滅しない場合は、挿入の向きを確認し、再度メモリーカードを差し込んでください。



> **ご注意**
>
> miniSD/miniSDHC❶、microSD/microSDHC❷ または“メモリースティック マイクロ”❸ をお使いの場合は、必ずカードアダプターを装着してください。
>
> 
>

本機で使用できるメモリーカードの詳細については、「メモリーカードについて」（60 ページ）、表示できるファイルフォーマットに関しては取扱説明書の「主な仕様」をご覧ください。

メモリーカードを挿入すると

メモリーカードを挿入すると、カード内の画像が自動的に表示されます。画像表示中に電源を切った場合は、再度電源を入れると画像は続きから再生されます。

再生デバイスを切り換えるには

再生デバイス選択ボタンを押してください（32 ページ）。

メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ取り出します。

アクセスランプ点滅中は取り出さないでください。

ご注意

- 本機には、“メモリースティック”スタンダード／デュオ対応スロットが搭載されていますので、“メモリースティック”アダプターは不要です。
- “メモリースティック”（スタンダード／デュオ）／ SD メモリーカード／ MMC ／ xD-Picture Card 兼用スロットは、自動的にカードタイプを検出します。
- Ⓑ、Ⓒ スロットへ同時にメモリーカードを挿入しないでください。同時に挿入すると、正常に動作しません。

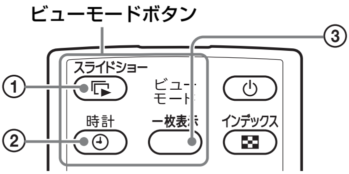
ちょっと一言

縦位置で撮影した回転情報を Exif 情報に記録できないデジタルスチルカメラで撮影した画像は、自動回転表示ができません。

画面表示を切り換える

ビューモードボタンで表示スタイルを切り換えることができます。

1　お好みの表示のビューモードボタンを押す。



押したボタンのビューモード画面が表示されます。

①



スライドショー表示
(17 ページ)

②



時計・カレンダー表示
(19 ページ)

③



一枚表示
(20 ページ)

ちょっと一言

本体から操作する場合は、液晶画面の背面上部にあるビューモードボタンを押してください。

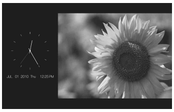
2　←/→ ボタンでお好みのスタイルを選び、-✦- ボタンを押す。

選択したスタイルの画面が表示されます。

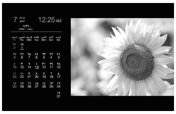
ご注意

一定時間操作が行われないと、カーソル上のスタイルが自動で決定されます。

スライドショー表示

表示	スタイル	説明
スライドショー	 シングル表示	1 つの画面を、次々と表示するスタイルです。
	 マルチ表示	複数画像を用いて表示するスタイルです。
	 時計表示／世界時計表示	現在の日時を表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。
	 カレンダー表示	カレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時も表示されます。
	 タイムマシン	撮影日時を表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時は表示されません。
	 スクラップブック／クリエイティブ	クリエイティブエディット内の雛形で加工された写真のように表示するスタイルです。

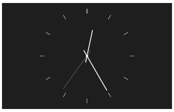
次のページにつづく

表示	スタイル	説明
スライドショー	 ランダム表示	複数のスライドショーと複数のエフェクトをランダムに切り換えながら表示するスタイルです。 **画像をランダムに表示させる場合** [スライドショー設定]の[シャッフル再生]を[ON]にした場合に利用できます。(25 ページ)
	 陰暦カレンダー表示(中国語(簡体字)設定時)	陰暦カレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時も表示されます。
	 アラビアカレンダー表示(アラビア語設定時)	アラビアカレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時も表示されます。
	 ペルシアカレンダー表示(ペルシア語設定時)	ペルシアカレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するスタイルです。現在の日時も表示されます。

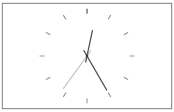
ちょっと一言

- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモモードが開始します。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモモードは終了します。
- スライドショーの画像表示順については 45 ページをご覧ください。
- スライドショーの切り換え間隔、カラー効果、画像表示方法は「スライドショーの設定を変更する」(24 ページ)で設定できます。
- スライドショー中、-✦-ボタンを押すと、一枚表示画面になります。
- スライドショー中に ⏻(電源)ボタンを使って電源を切った場合、再度電源を入れるとスライドショーは続きから再生されます。
- 写真や動画の情報を含まない音声情報のみからなるファイルは表示されません。

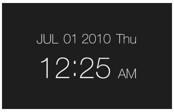
時計・カレンダー表示



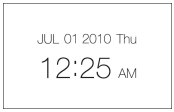
時計 1



時計 2



時計 3



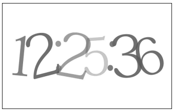
時計 4



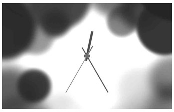
時計 5



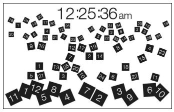
時計 6



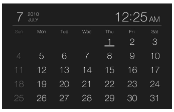
時計 7



時計 8



時計 9



カレンダー1



カレンダー2



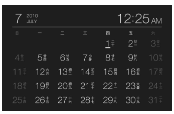
世界時計 1



世界時計 2



世界時計 3



陰暦
カレンダー
（中国語（簡体字）
設定時）



アラビア
カレンダー
（アラビア語設定時）



ペルシア
カレンダー
（ペルシア語設定時）

ご注意

時計･カレンダー表示中は、メニューの設定タブまたはスライドショー設定タブのみ操作できます。

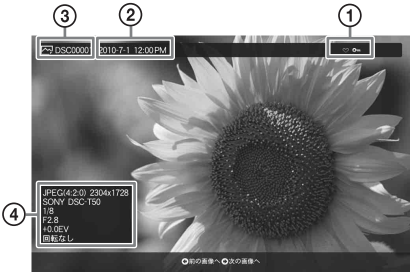
一枚表示

表示	スタイル	説明
一枚表示	 画像全体	画像全体をそのまま表示します。 ←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。
	 画面いっぱい	画像を画面いっぱいに表示します。 （画像の縦横比によっては、画像のふちの一部が表示されない場合があります。） ←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。
	 画像全体 （情報表示あり）	画像全体を表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 ←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「画面に表示される情報」（21 ページ）をご覧ください。
	 画面いっぱい （情報表示あり）	画像を画面いっぱいに表示した状態で画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。 （画像の縦横比によっては、画像のふちの一部が表示されない場合があります。） ←/→ ボタンで表示する画像を切り換えます。 表示される画像情報については、「画面に表示される情報」（21 ページ）をご覧ください。

ちょっと一言

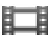
- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモモードが開始します。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモモードは終了します。
- パノラマ画像を一枚表示時に-◆-ボタンを押すと、パノラマ再生を始めます。
- 一枚表示画面で表示する画像の大きさを変更するにはビューモードボタンを押し、一枚表示 を選び、←/→ ボタンで標準スタイル（画像全体）と全画面スタイル（画面いっぱい）の設定をします。画像によっては全画面スタイルで表示できないことがあります。
- 本体のビューモードボタンからも操作できます。
- 写真や動画の情報を含まない音声情報のみからなるファイルは表示されません。

画面に表示される情報



次の情報を表示します。

① 設定情報

表示	意味
	プロテクト表示
	関連付けファイル表示 （E メール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。）
	マークを付けた場合に表示されます。
	動画アイコン
	音声メモアイコン
	パノラマ画像アイコン

② 撮影年月日・撮影時間

ご注意

動画ファイルの場合は表示されません。

③ 画像番号（フォルダー －ファイル番号）

DCF 準拠の画像の場合、表示されます。

非 DCF の画像の場合、ファイル名の先頭 10 文字が表示されます。

ご注意

英数字のみ表示対象になります。

④ 画像詳細表示

- **写真の場合**
  - ファイル形式（JPEG（4:4:4）、JPEG（4:2:2）、JPEG（4:2:0）、BMP、TIFF、RAW）
  - 画素数（画像の幅×画像の高さ）
  - 画像入力機器のメーカー名
  - 画像入力機器のモデル名
  - 露出時間 （例：1/8）
  - 絞り値（例：F2.8）
  - 露出補正値（例：＋ 0.0EV）
  - 回転情報
- **動画の場合**
  - ファイル形式（AVI、MOV、MP4、MPEG-2 PS、MPEG-2 TS）
  - ファイルサイズ
  - 再生時間
  - 画像サイズ（動画の幅×動画の高さ）
  - ビデオコーデック／ビットレート
  - 音声コーデック／ビットレート

インデックス表示

1　一枚表示またはスライドショー中に ▦（インデックス）ボタンを押す。

サムネイルの一覧を表示します。



2　←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かして表示する画像を選択し、-✦- ボタンを押す。

選択した画像を一枚表示します。

サムネイルの大きさを変える

インデックスの一覧を表示しているときに ⊕（拡大）または ⊖（縮小）ボタンを押すと表示するサムネイルの大きさが変わり、表示されるサムネイルの数も変えることができます。

ご注意

インデックス表示の場合、テレビ出力時は、画面サイズによって、画像数が変わります。

ちょっと一言

- サムネイルとは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルに記録されている、見出し用の小さいサイズの画像のことです。
- インデックス表示中、←/→/↓/↑ ボタンで画像を選び、-✦-ボタンを押すと、選択した画面を一枚表示します。
- 写真や動画の情報を含まない音声情報のみからなるファイルは表示されません。

動画を再生する

1　画像ファイルを選ぶ。

① 1枚表示 ボタンを押す。
② ←/→ ボタンでお好みのスタイルを選び -✦- ボタンを押す。
③ ←/→ ボタンで画像を選び、再生したい動画を選択する。

2　-✦- ボタンを押す。

動画の再生が始まります。

音量を調整する

↓/↑ ボタンを押すと、画面右側に音量調整画面が表示されます。
大きくしたい場合は ↑ ボタンを、小さくしたい場合は ↓ ボタンを押してください。

ちょっと一言

スタート画面や一枚表示画面でも調整できます。

再生を一時停止する

動画を再生中に -✦- ボタンを押してください。
再開するときは、もう一度 -✦- ボタンを押してください。

早送り／早戻しする

動画を再生中に ←/→ ボタンを押してください。早送り / 早戻し中に -✦- ボタンを押すと、そこから再生が始まります。
ただし、動画ファイルによっては、本機で早送り / 早戻しができないものがあります。

再生を停止する

動画を再生中に戻るボタンを押してください。

ご注意

- 次のような動画ファイルは再生できません。
  – 著作権保護された動画ファイル
  – 幅または高さのどちらかが最大サイズを超える動画ファイル
- スライドショー表示中、一時停止、早送り／早戻し操作はできません。

- 撮影時に複数のファイルに分割された動画の連続再生はできません。分割ファイルごとに再生してください。
- 動画ファイルの詳細については、撮影されるカメラの取扱説明書をご覧ください。
- データの種類、メモリーカードの転送速度によってはコマ落ちをすることがあります。
- 本体とテレビの HDMI 端子を接続して動画ファイルを再生する場合、解像度が 1920 × 1080 以外の動画ファイルは、テレビ画面の上下左右に黒枠のある画像で表示されます。黒枠の大きさは、解像度によって異なります。（DPF-XR100/XR80 のみ）
- HDMI ケーブルでテレビと接続している場合は、音声や操作音、アラーム音がテレビから出力され、本体からは出力されません。音量の調節は、ご使用のテレビの音量調節機能をご利用ください。（DPF-XR100/XR80 のみ）

スライドショーをもっと楽しむ

1 （スライドショー）ボタンを押す。

ちょっと一言

本体から操作する場合は、液晶パネルの背面上部にあるビューモードボタンを押し、↓/↑ ボタンでスライドショーを選択してください。



2 ←/→ ボタンでお好みのスタイルを選び、-✧- ボタンを押す。

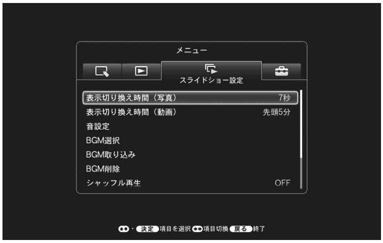


詳しくは、「スライドショー表示」（17 ページ）をご覧ください。

スライドショーの設定を変更する

1 メニューボタンを押す。

2 ←/→ ボタンで［スライドショー設定］タブを選ぶ。



3 ↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、-✧- ボタンを押す。

設定項目については、次ページの表をご覧ください。

ご注意

- メモリーカードからスライドショーを行う場合は以下にご注意ください。
  - メモリーカードはデバイスの特性上、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。
  - 少ない枚数での長時間のスライドショーはデータエラーの原因になりますのでおやめください。
  - メモリーカード内の画像の定期的なバックアップをお勧めします。
- スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目は灰色で表示され、選択できません。
- スタンバイモードにせずに電源を切ったり、リセットしたりすると、スライドショーは続きから再生されません。
- 周囲の明るさに比べ、明るすぎる状態の画面を注視すると気分が悪くなる可能性があります。明るさの設定に注意してご使用ください。

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="14">スライドショー設定</td><td>表示切り換え時間（写真）</td><td colspan="2">画像を切り換える間隔を 3 秒、7 秒＊、20 秒、1 分、5 分、30 分、1 時間、3 時間、12 時間、24 時間の間で設定します。</td></tr>
<tr><td>表示切り換え時間（動画）</td><td colspan="2">動画を切り換える間隔を、先頭からの再生時間で設定します。
再生時間は、先頭 15 秒、先頭 30 秒、先頭 1 分、先頭 3 分、先頭 5 分＊の中から設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ご注意
スライドショーのスタイルや画像サイズ、カラー効果によっては、設定した切り換え間隔で画像が切り換わらないことがあります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">音設定</td><td rowspan="4">「スライドショーを音楽といっしょに再生する」（27 ページ）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">BGM 選択</td></tr>
<tr><td colspan="2">BGM 取り込み</td></tr>
<tr><td colspan="2">BGM 削除</td></tr>
<tr><td rowspan="2">シャッフル再生</td><td>ON</td><td>画像をランダムに表示します。</td></tr>
<tr><td>OFF＊</td><td>本体設定の画像表示順にしたがって画像を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">カラー効果</td><td colspan="2">写真のカラー効果を次のいずれかから選びます。
ご注意
動画再生時は常に「カラー」で表示します。</td></tr>
<tr><td>カラー＊</td><td>画像をカラーで表示します。</td></tr>
<tr><td>セピア</td><td>画像をセピアで表示します。</td></tr>
<tr><td>モノクロ</td><td>画像をモノクロで表示します。</td></tr>
<tr><td>画像補正</td><td>画像補正では以下の 2 つの補正を同時に行います。
逆光補正：顔検出機能を使って、明るさを補正します。
ピンボケ補正：ピンボケの画像をフォーカスの合った画像に補正します。</td></tr>
</table>

＊：工場出荷時の設定

次のページにつづく

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">スライドショー設定</td><td rowspan="3">画像表示方法</td><td colspan="2">写真の表示サイズを次のいずれかから選びます。

ご注意
• 画像データ自体は変更されません。
• 動画再生時は常に「画像全体」で表示されます。</td></tr>
<tr><td>画像全体*</td><td>画像全体を適切な大きさまで拡大して表示します。（上下左右に黒い帯が表示されることがあります。）</td></tr>
<tr><td>画面いっぱい</td><td>画像の縦横比はそのままで、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。

ご注意
スライドショーのスタイルによっては、設定したサイズで表示されないことがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スピーカー出力最適化</td><td>ON*</td><td>デジタル信号処理によって、音声出力を最適化します。</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>音声出力の最適化を行いません。</td></tr>
</table>

*：工場出荷時の設定

スライドショーを音楽といっしょに再生する

音楽を取り込む

音楽ファイルを取り込む前に、必ず本機で再生可能な音楽ファイルかどうかを確認してください。取り込みや再生可能な音楽ファイルに関しては、取扱説明書の「主な仕様」のバックグラウンド音楽の項目をご覧ください。

1 音楽ファイルの入ったメモリーカードを挿入する。

2 メニューボタンを押し、←/→ で［スライドショー設定］タブを選ぶ。

3 ↓/↑ ボタンで［BGM 取り込み］を選び、-✦- ボタンを押す。

4 ↓/↑ ボタンで、手順 1 で挿入したメモリーカードを選択する。

5 音楽ファイル一覧から、↓/↑ ボタンで取り込みたい音楽ファイルを選び、-✦- ボタンを押す。

選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✔」が付きます。

6 複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順 5 を繰り返す。

ちょっと一言

選択したファイルを解除するときは、解除したい音楽ファイルを選択して -✦- ボタンを押してください。チェックマーク「✔」が消えます。

7 音楽ファイルの選択が終わったら、メニューボタンを押す。

8 確認画面が表示されたら -✦- ボタンを押す。

選んだ音楽ファイルが内蔵メモリーに取り込まれます。

ちょっと一言

- 内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルを削除するには、手順 2 の［スライドショー設定］画面で［BGM 削除］を選び -✦- ボタンを押します。表示された音楽ファイル一覧から、↓/↑ ボタンで削除したい音楽ファイルを選び -✦- ボタンを押すと、選んだ音楽ファイルが削除されます。
- 取り込んだ音楽ファイルは、スライドショーの BGM としてのみ再生可能です。
- 再生できるのは内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルのみです。
- 内蔵メモリーに取り込める音楽ファイルは、最大で 40 曲です。

再生する音楽を選択する

1 メニューボタンを押し、←/→ で［スライドショー設定］タブを選ぶ。

2 ↓/↑ ボタンで［BGM 選択］を選び、-✦- ボタンを押す。

3 取り込んだ音楽ファイルの一覧から、↓/↑ ボタンで再生したい音楽ファイルを選び、-✦- ボタンを押す。

選んだ音楽ファイルにチェックマーク「✔」が付きます。

4 複数の音楽ファイルを選択したい場合は、手順 3 を繰り返す。

5 メニューボタンを押す。

次のページにつづく

スライドショーで音楽を再生する

内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルを、写真と動画のスライドショーの際にBGM として再生するための設定です。

1 **メニューボタンを押し、←/→ で［スライドショー設定］タブを選ぶ。**

2 **↓/↑ ボタンで［音設定］を選び、✣ ボタンを押す。**

3 **↓/↑ ボタンで「写真再生時」または「動画再生時」を選び、✣ ボタンを押す。**

4 **BGM の設定をする。**

写真再生時

「BGM ON」：写真のスライドショー中に BGM が再生されます。

「BGM OFF」：写真のスライドショー中に BGM は流れません。

動画再生時

「動画音」：動画のスライドショー中に動画の音声が再生されます。

「BGM」：動画のスライドショー中に BGM が再生されます。

「OFF」：動画のスライドショー中に音は流れません。

ご注意

著作権保護された音楽ファイルは再生できません。

音量を調整する

↓/↑ ボタンを押すと、画面右側に音量調整画面が表示されます。

大きくしたい場合は ↑ ボタンを、小さくしたい場合は ↓ ボタンを押してください。

ちょっと一言

スタート画面や一枚表示画面でも調整できます。

リフレッシュモード

内蔵メモリーに保存された画像は、デバイスの特性上、時間の経過や読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがあります。

本機は、このようなエラーを防ぐため、ご使用状況に応じて自動で内蔵メモリーのリフレッシュを行います。

リフレッシュが必要なタイミングになると、リフレッシュ画面が自動で表示されます。

「はい」を選択、または 30 秒間無操作で自動的に開始します。

「いいえ」を選択すると、再度必要なタイミングでリフレッシュ画面が表示されます。



内蔵メモリーのリフレッシュ中は、本機の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。

リフレッシュには 5 分程度かかる場合があります。

ご注意

- 内蔵メモリー内の画像データは、こまめにバックアップをとってください。
- 10 枚以下の画像数で、スライドショー切り換え間隔が 3 秒での継続したご使用はお控えください。内蔵メモリーの画像を保護できない場合があります。

メンテナンスモード

本機のファームウエアを更新したり、システムの初期化したりすることができます。

ちょっと一言

ファームウエアの更新やシステムの初期化は、次のような場合にお選びください。

ファームウエアの更新：
本機のファームウエアを更新することにより、最適なパフォーマンスが得られ、また機能向上した製品をご使用になれます。

システムの初期化：
本機が正常に起動しない場合は、システムの初期化を行ってください。システムの初期化を行っても正常に起動しない場合は、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

メンテナンスモードを起動する

1 **本体の電源が切れていることを確認する。**

2 **本体のビューモードボタンを押しながら、⏻ ボタンを押して電源を入れる。**

ビューモードボタンは、次の画面が表示されるまで押し続けてください。



メンテナンスモードが起動します。

3 **↓/↑ ボタンで［ファームウエアの更新］または［システムの初期化］を選び、-✛- ボタンを押す。**

ファームウエアの更新：
アップデートファイルの入手方法や、更新方法など詳しい情報は下記をご覧ください。
http://www.sony.co.jp/DPF

システムの初期化：
システム初期化の操作画面が表示されます。
次の「システムを初期化する」へお進みください。

システムを初期化する

1 **システム初期化の操作画面が表示されたら、←/→ ボタンで［はい］を選び -✛- ボタンを押す。**



システムの初期化が行われます。

ちょっと一言

この処理で内蔵メモリー内の写真や音楽データが消えることはありませんが、その他のメニュー設定やマーク情報は消去されます。

次のページにつづく

2 **液晶画面に完了のメッセージが表示されたら、本体の ⏻ ボタンを押して電源を切る。**



3 **本体背面のリセットスイッチを細い棒などで押す。**

本機の起動が始まります。

ちょっと一言

システム初期化後の最初の起動には 1 分程度かかる場合があります。

メモリーカードから内蔵メモリーに画像を取り込む

大切な画像を、内蔵メモリーに保存することによって、電子アルバムとして使用できます。

ちょっと一言

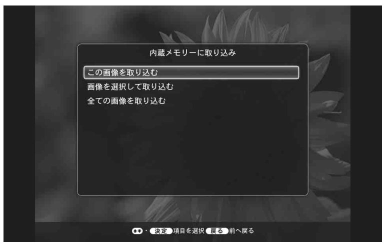
- 内蔵メモリーに保存する画像のサイズを最適化するか、圧縮せずに保存するかをあらかじめ[画像取り込みサイズ]で設定できます（45 ページ）。
- [リサイズ]の場合、約 4,000 枚保存できます。[原画サイズ]の場合、画像のサイズによって保存できる枚数が変わります。

1 **メモリーカードの画像を表示した状態で、（画像取込み）ボタンを押す。**

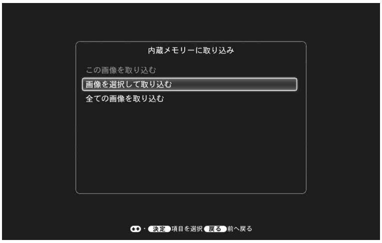
ちょっと一言

本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで （画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで[内蔵メモリーに取り込み]を選択して、 ボタンを押してください。

一枚表示の場合



スライドショーの場合



2 **↓/↑ ボタンで、[この画像を取り込む]、[画像を選択して取り込む]、または、[全ての画像を取り込む] を選び、⊹ ボタンを押す。**

［この画像を取り込む］を選ぶと、現在選択している画像を内蔵メモリーに取り込みます。手順 5 へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を取り込む］は選択できません。）
［画像を選択して取り込む］を選ぶと、画像一覧が表示され、取り込みたい画像を選択できます。手順 3 へ進んでください。
［全ての画像を取り込む］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 4 へ進んでください。

3 **画像一覧から、←/→/↓/↑ ボタンで取り込みたい画像を選び、⊹ ボタンを押す。**

選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像を同時に取り込みたい場合は、この操作を繰り返します。



選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し ⊹ ボタンを押すと「✔」が消えます。

画像一覧での絞り込みについて

絞り込み実行中：
絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。
絞り込み解除時：
現在表示されている画像の入ったデバイスの画像を一覧表示します。
（絞り込みについては、37 ページをご覧ください。）

4 **メニューボタンを押す。**

フォルダー選択画面が表示されます。

5 **↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、⊹ ボタンを押す。**

画像取り込みの確認画面が表示されます。



ちょっと一言

［新規］を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

次のページにつづく

6 **↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、-✦- ボタンを押す。**

画像が内蔵メモリーの指定フォルダーに保存されます。

7 **確認画面が表示されたら、-✦- ボタンを押す。**

ご注意

- 内蔵メモリーの画像は「内蔵メモリーに取り込み」ができません。
- 内蔵メモリーに取り込み中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  - 電源を切る。
  - メモリーカードを抜く。
  - 他のメモリーカードを挿入する。
- 動画ファイルは本体操作で「内蔵メモリーに取り込み」ができません。動画を内蔵メモリーに取り込みたい場合は、本機をコンピューターと接続し、コンピューターの動画を本機の内蔵メモリーにコピーしてください。詳しくは、「コンピューターに接続する」をご覧ください。

ちょっと一言

- 画像一覧で拡大/縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。
- 内蔵メモリーに記録した画像は、内蔵メモリーのデバイスの特性上、時間の経過や、読み出し回数の多さが原因でデータ化けなどのエラーが発生することがありますので、定期的なバックアップをお勧めします。

再生デバイスを選択する

メモリーカードや内蔵メモリーなど、表示するデバイスを指定することができます。

1 **再生デバイス選択ボタンを押す。**



ちょっと一言

- 本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで ▶（再生デバイス選択）タブを選んでください。
- 選択したいメモリーカードが挿入されていない場合は、ここで挿入してください。

ご注意

時計･カレンダー表示中は、▶（再生デバイス）タブを選択できません。

2 **↓/↑ ボタンで表示したい再生デバイスを選び、-✦- ボタンを押す。**

選択した再生デバイスの画像が表示されます。

ちょっと一言

絞り込み実行中に再生デバイスを変更すると、自動的に絞り込みが解除されます。

内蔵メモリーからメモリーカードへ画像を書き出す

内蔵メモリーに取り込んだ画像を、メモリーカードに書き出せます。

1 内蔵メモリーの画像を表示した状態でメニューボタンを押す。

2 ←/→ ボタンで（画像操作）タブを選ぶ。

3 ↓/↑ ボタンで［書き出し］を選び、⊹ ボタンを押す。

一枚表示の場合



4 ↓/↑ ボタンで、［この画像を書き出す］、［画像を選択して書き出す］または、［全ての画像を書き出す］を選び、⊹ ボタンを押す。

［この画像を書き出す］を選ぶと、現在選択している画像を書き出します。手順 7 へ進んでください。
（スライドショー選択時は［この画像を書き出す］は選択できません。）
［画像を選択して書き出す］を選ぶと、画像一覧が表示され、書き出したい画像を選択できます。手順 5 へ進んでください。
［全ての画像を書き出す］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 6 へ進んでください。

5 画像一覧から、←/→/↓/↑ ボタンで書き出したい画像を選び、⊹ ボタンを押す。

選択された画像には「✔」がつきます。
複数の画像を同時に書き出したい場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し ⊹ ボタンを押すと「✔」が消えます。

画像一覧での絞り込みついて

絞り込み実行中：
絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。
絞り込み解除時：
内蔵メモリー内の全画像を一覧表示します。
（絞り込みについては、37 ページをご覧ください。）

6 メニューボタンを押す。

書き出すメモリーカードを選択する画面が表示されます。

7 ↓/↑ ボタンで、画像を書き出すメモリーカードを選び、⊹ ボタンを押す。



次のページにつづく

8 **↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、-✧- ボタンを押す。**

書き出しの確認画面が表示されます。



ちょっと一言

[新規]を選ぶと、保存先のフォルダーが自動的に作成されます。

9 **↓/↑ ボタンで［はい］を選び、-✧- ボタンを押す。**

画像が書き出されます。

10 **確認画面が表示されたら -✧- ボタンを押す。**

画像が指定したメモリーカードにコピーされます。

ご注意

画像の書き出し中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。

– 電源を切る。
– メモリーカードを抜く。
– 他のメモリーカードを挿入する。

ちょっと一言

- 本体のメニューボタンからも操作できます。
- 画像一覧で拡大/縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。
- 本機に認識されないメモリーカードは灰色で表示され、選択できません。
- 動画ファイルも「この画像を書き出す」ができます。

画像を削除する

1 **画像を表示した状態で（削除）ボタンを押す。**

ちょっと一言

本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで（画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで［削除］を選択し、-✧-ボタンを押してください。

2 **↓/↑ ボタンで、［この画像を削除］、［画像を選択して削除］、［全ての画像を削除］を選び、-✧- ボタンを押す。**

［この画像を削除］を選ぶと、現在選択している画像を削除します。手順 5 へ進んでください。

（スライドショー選択時は［この画像を削除］は選択できません。）

［画像を選択して削除］を選ぶと、画像一覧が表示され、削除したい画像を選択できます。手順 3 へ進んでください。

［全ての画像を削除］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 4 へ進んでください。

3 **画像一覧から、←/→/↓/↑ ボタンで削除したい画像を選び、-✧- ボタンを押す。**

選択された画像には「✔」がつきます。

複数の画像を同時に削除したい場合は、この操作を繰り返します。

選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し -✧- ボタンを押すと「✔」が消えます。

画像一覧での絞り込みについて

絞り込み実行中：
絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。
絞り込み解除時：
現在表示されている画像の入ったデバイスの画像を一覧表示します。
（絞り込みについては、37 ページをご覧ください。）

4 メニューボタンを押す。

削除の確認画面が表示されます。

5 ↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、-◆- ボタンを押す。

画像が削除されます。

6 削除が終わり、確認画面が表示されたら -◆- ボタンを押す。

ご注意

- 画像を削除中は、以下のことをしないでください。本機、メモリーカード、およびデータを破損する場合があります。
  – 電源を切る。
  – メモリーカードを抜く。
  – 他のメモリーカードを挿入する。
- ［プロテクトファイルは削除できません。］というメッセージが表示された場合、その画像はコンピューターで属性を「読み取り専用」に設定されています。本機では削除できないため、コンピューターに接続して、コンピューター上で削除してください。
- 内蔵メモリー初期化のすぐあとでも、内蔵メモリーの総容量と残容量は同じにはなりません。
- 削除を開始すると、途中で中止しても削除した画像を元に戻すことはできません。削除するときは、画像をよく確認してから削除を実行してください。

ちょっと一言

画像一覧で拡大 /縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。

内蔵メモリーを初期化するには

1 メニューボタンを押す。

2 ←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。

3 ↓/↑ ボタンで［工場出荷状態に戻す］を選び、-◆-ボタンを押す。

4 ↓/↑ ボタンで［内蔵メモリーの初期化］を選び、-◆-ボタンを押す。
初期化の確認画面が表示されます。

5 ↓/↑ ボタンで［はい］を選び、-◆-ボタンを押す。

画像にマークを付ける

お好みの画像にマークを付けることによりマークを付けた画像のみを表示してスライドショーなどお楽しみいただけます。マークをインデックスや一枚表示から簡単に確認できます。

1　画像を表示した状態で♡（マーク操作）ボタンを押す。

ちょっと一言

本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで（画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで[マーク操作]を選択し、ボタンを押してください。

2　↓/↑ ボタンでお好みのマークを選び、ボタンを押す。



3　↓/↑ ボタンで、[この画像に付ける]、[画像を選択してマーク操作]または、[全ての画像に付ける］を選び、ボタンを押す。

［この画像に付ける］を選ぶと、現在選択している画像にマークを付けます。手順 6 へ進んでください。

（スライドショー選択時は［この画像に付ける］は選択できません。）

［画像を選択してマーク操作］を選ぶと、画像一覧が表示され、マークを付ける画像を選択できます。手順 4 へ進んでください。

［全ての画像に付ける］を選ぶと、全ての画像に「✔」がついた状態で画像一覧を表示します。手順 5 へ進んでください。

4　画像一覧から、←/→/↓/↑ ボタンでマークを付ける画像を選び、ボタンを押す。

選択された画像には「✔」がつきます。

複数の画像に同時にマークを付ける場合は、この操作を繰り返します。

選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し、ボタンを押すと「✔」が消えます。

画像一覧での絞り込みについて

絞り込み実行中：

絞り込みの条件に当てはまる画像を一覧表示します。

絞り込み解除時：

現在表示されている画像の入ったデバイスの画像を一覧表示します。

（絞り込みについては、37 ページをご覧ください。）

5　メニューボタンを押す。

確認画面が表示されます。

6　↓/↑ ボタンで、[はい］を選び、ボタンを押す。

選択した画像にマークがつきます。

登録したマークをはずすには

手順 3 で［この画像から外す］または、［全ての画像から外す］を選び、-✦-ボタンを押します。また、「✔」を解除することで、マークをはずすことができます。

- この画像から外す：現在選択されている画像からマークを削除します（スライドショー選択時は選べません。）
- 全ての画像から外す：

  絞り込み実行中

  絞り込みの条件に当てはまる全画像からマークを削除します。

  絞り込み解除時

  現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像からマークを削除します。

ご注意

マークは内蔵メモリーの画像に設定した場合のみ保存されます。
メモリーカードの画像に設定したマークは、電源を切ったり再生デバイスの切り換えを行なうと解除されます。

ちょっと一言

- 3 種類からマークを選択できます。
- 画像一覧で⊕拡大/⊖縮小を使ってサムネイルの大きさを切り換えることができます。

画像を絞り込む

内蔵メモリーまたはメモリーカードの中の画像をイベント、フォルダー、縦写真／横写真、マークなどの条件から絞り込めます。

1 画像を表示した状態で絞り込みボタンを押す。

ちょっと一言

本体から操作する場合、メニューボタンを押し、←/→ ボタンで（画像操作）を選択してから、↓/↑ ボタンで[絞り込み表示]を選択し、-✦-ボタンを押してください。

2 ↓/↑ ボタンで絞り込み条件を選び、-✦- ボタンを押す。



- イベントで絞り込む：
  イベントから画像を絞り込みます。
- フォルダーで絞り込む：
  フォルダーから画像を絞り込みます
- 縦写真／横写真で絞り込む：
  画像の向きから画像を絞り込みます。
- マークで絞り込む：
  マークの種類から画像を絞り込みます。
- 動画／写真で絞り込む：
  動画と写真で絞り込みます。

次のページにつづく

3 ↓/↑ ボタンで項目を選び、-✦- ボタンを押す。

4 手順 3 を繰り返して項目を選び、終わったらメニューボタンを押す。

絞り込みを解除するには

絞り込んだ画像を表示中にメニューボタンを押して、［絞り込み表示を解除］を選び、-✦-ボタンを押します。

絞り込み条件を変更するには

絞り込んだ画像を表示中に戻るボタンを押して、［選び直し］を選択します。

ご注意

- 絞り込み中に電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。
- 次の場合は、絞り込みが自動的に解除されます。
  - 再生デバイスを変更したとき
  - メモリーカードの画像を絞り込み、そのメモリーカードを抜いたとき
- 動画ファイルの撮影日時は取得することができません。そのため、「イベントで絞り込む」を選択した場合は、動画は選択されず、「撮影日なし」に絞り込まれます。

画像サイズと位置を調整する

画像を拡大／縮小する

一枚表示中にお好みの画像を拡大 / 縮小できます。

拡大するにはリモコンの⊕（拡大）ボタンを、拡大したものを縮小するには⊖（縮小）ボタンを押す。

⊕ボタンを押すたびに、拡大率が増加します。最大 5 倍まで拡大できます。拡大した場合、上下左右に移動できます。

拡大／縮小後の画像を保存するには

①画像を拡大／縮小した状態でメニューボタンを押す。

②↓/↑ ボタンで保存方法を選ぶ。
［新規保存］を選ぶと元の画像とは別に保存されます。手順 ③ へ進んでください。
［上書き保存］を選ぶと元の画像に置き換えて保存されます。手順 ⑤ へ進んでください。

③↓/↑ ボタンで拡大／縮小した画像を保存するデバイスを選び、-✦-ボタンを押す。

④↓/↑ ボタンで保存先のフォルダーを選び、-✦-ボタンを押す。

⑤↓/↑ ボタンで［はい］を選び、-✦-ボタンを押す。
画像が保存されます。

⑥保存の確認画面が表示されたら-✦-ボタンを押す。

ちょっと一言

手順 ① で拡大した画面を ←/→/↓/↑ ボタンで動かした状態でメニューボタンを押すと、表示されている画面がトリミングされた状態で保存されます。

ご注意

- JPEGファイル（拡張子：.jpg、または.jpeg）以外は、上書き保存ができません。
- 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
- 本体のボタンからは拡大・縮小はできません。
- 動画ファイルは拡大・縮小できません。

画像を回転する

一枚表示中にお好みの画像を回転させて表示できます。

本体から操作する

1 **一枚画面表示中にメニューボタンを押す。**

2 **←/→ ボタンで （画像操作）タブを選ぶ。**

3 **↓/↑ ボタンで［回転］を選び、 ボタンを押す。**



4 **↓/↑ ボタンで、回転方向を選び、 ボタンを押す。**

- ：時計回りに 90 度回転します。
- ：反時計回りに90度回転します。

ご注意

拡大した画像は回転できません。

ちょっと一言

- リモコンの （回転）ボタンを押しても、画像を回転させることができます。ボタンを押すたびに画像が反時計回りに 90 度回転します。
- 内蔵メモリーの場合、画像を回転させた情報は、電源を切ったあとも保持されます。
- インデックス表示の画像も回転できます。
- 動画ファイルは回転できません。

自動電源 ON/OFF の設定を変更する

電源が入っている場合、自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定できます。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **←/→ ボタンで （設定）タブを選ぶ。**

3 **↓/↑ ボタンで設定を［自動電源 ON/OFF 設定］を選び、-✦- ボタンを押す。**



4 **↓/↑ ボタンで［設定方法］を選び -✦- ボタンを押し、↓/↑ ボタンで［詳細設定］、［シンプル設定］または「オートオフ設定」を選び、-✦- ボタンを押す。**

［詳細設定］：
曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。
［シンプル設定］：
1 分単位で詳細な自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。
［オートオフ設定］：
電源を入れたあと、無操作のまま一定時間経過すると自動的に電源を切ることができます。設定時間は 2 時間または 4 時間から選ぶことができます。

5 **↓ ボタンで［時間設定］を選び、-✦- ボタンを押す。**

[詳細設定]



① ←/→/↓/↑ ボタンで自動電源 ON/OFF 機能を使用したい時間を選ぶ。

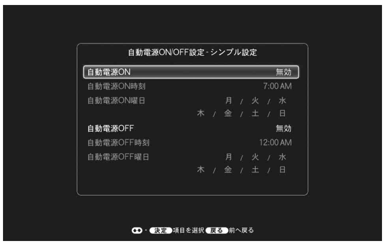
月曜日から日曜日まで 1 時間単位で選択します。
-✦- ボタンを押すと選択した時間帯が青色になります。青色の時間帯は本機の電源が ON となります。青色の時間帯を選んで -✦- ボタンを押すと、灰色になります。灰色の時間帯に本機の電源が OFF になります。

ちょっと一言

使用中でも自動電源 OFF の時間となると、電源は自動的に OFF となります。また、スタンバイ中に自動電源 ON の時間となると自動的に電源が ON になります。

②←/→/↓/↑ ボタンで［確定］を選ぶ。

[シンプル設定]



① 時間設定をしたい項目を選ぶ。

↓/↑ボタンで[自動電源 ON]または[自動電源 OFF]を選び-✦-ボタンを押し、↓/↑ボタンで[有効]を選び-✦-ボタンを押します。

② 自動電源 ON/OFF 機能を使用したい時刻を設定する。

↓/↑ボタンで[自動電源 ON 時刻]または[自動電源 OFF 時刻]を選び、-✦-ボタンを押します。

←/→ボタンで時、分を選び、↓/↑ボタンで数値設定をし、-✦-ボタンを押します。

③ 自動電源 ON/OFF 機能を使用したい曜日を設定する。

↓/↑ボタンで[自動電源 ON 曜日]または[自動電源 OFF 曜日]を選び、-✦-ボタンを押します。

↓/↑ボタンで機能を使いたい曜日を選び、-✦-ボタンでチェックをつけます。

↓/↑ボタンでカーソルを[確定]へ移動し、-✦-ボタンを押します。

[オートオフ設定]



↓/↑ボタンで［2 時間］または［4 時間］を選び、-✦-ボタンを押します。

6 **メニューボタンを押す。**

アラーム機能を使う

本機を目覚まし時計としてお使いいただくことができます。設定した曜日の時刻になると、アラーム音とアラーム画面でお知らせします。

1 **アラームを設定する。**

① ↓/↑ボタンで［ON/OFF］を選び、-✦-ボタンを押す。

② ↓/↑ボタンで［ON］を選び、-✦-ボタンを押す。

2 **時刻を設定する。**

①↓/↑ボタンで［時刻］を選び、-✦-ボタンを押す。

② ↓/↑ボタンで時刻を選び、-✦-ボタンを押す。

3 **曜日を設定する。**

① ↓/↑ボタンで［曜日］を選び、-✦-ボタンを押す。

② ↓/↑ボタンで曜日を選び、［確定］を押す。

ちょっと一言

すべての曜日にチェックマークが入っています。必要のない曜日のチェックははずしてください。

4 **アラーム音を設定する。**

① ↓/↑ボタンで［アラーム音選択］を選び、-✦-ボタンを押す。

スライドショー設定（27 ページ）で内蔵メモリーに取り込んだ音楽ファイルの一覧が表示されます。

② ↓/↑ボタンで音楽ファイルを選び、-✦-ボタンを押す。

5 **アラーム音量を設定する。**

① ↓/↑ボタンで［アラーム音量］を選び、-✦-ボタンを押す。

次のページにつづく

② ↓/↑ ボタンで音量（1 ～ 7）を選び、✣ ボタンを押す。

アラームを止めるには

本体の ⏻（電源）ボタン以外のボタンを押すと止まります。

ちょっと一言

- 時計設定を変更するには、「時刻を設定する」（14 ページ）をご覧ください。
- アラーム音が鳴っているときに自動電源 OFF 機能の設定時刻になっても自動電源 OFF は働きません。

ご注意

- HDMI ケーブルでテレビと接続している場合、アラーム音はテレビから出力されます。（DPF-XR100/XR80 のみ）
- 取り込んだ音楽ファイルをアラーム音として設定している場合でも、コンピューターと接続している状態では、本機内蔵の「アラーム音」でお知らせします。

設定を変更する

下記の設定を行うことができます。

- 画質モード
- アラーム設定
- 自動電源ON/OFF設定
- 時計設定
- 本体設定（画像表示順、Sony ロゴ点灯など）
- 言語設定
- 工場出荷状態に戻す

設定手順

1 **メニューボタンを押す。**

2 **←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。**



3 **↓/↑ ボタンで設定を変更したい項目を選び、✣ ボタンを押す。**

選択した項目の設定画面が表示されます。



（[本体設定］を選んだ場合）

4　↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、-✥- ボタンを押す。

それぞれの項目が設定できるようになります。（44 ページ）

ご注意

スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示され、選択できません。

5　↓/↑ ボタンで設定値を選び、-✥- ボタンを押す。

↓/↑ ボタン（本体の場合は方向ボタン）を押すたびに、設定値が切り換わります。数値の場合は、↑ ボタンで増え、↓ ボタンで減ります。

-✥- ボタンを押すと、設定内容が確定されます。

6　メニューボタンを押す。

メニューが終了します。

設定を工場出荷時に戻すには

1　メニューボタンを押して、←/→ ボタンで（設定）タブを選ぶ。

2　↓/↑ ボタンで［工場出荷状態に戻す］を選び、-✥-ボタンを押す。

3　↓/↑ ボタンで［設定の初期化］を選び、-✥-ボタンを押す。

時計設定の日付と時刻以外の設定値を工場出荷時の設定に戻します。

ちょっと一言

本体のメニューボタンからも操作できます。

次のページにつづく

設定項目

項目	設定		内容
画質モード	ポートレイト		適度なコントラストと自然な色彩で表現します。
	スタンダード*		印象的で色鮮やかに表現します。
	ビビッド		彩度とシャープネスが高く、より華やかに表現します。
アラーム設定	アラーム機能を設定します。（41 ページ）		
自動電源ON/OFF設定	自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定します。以下から設定できます。（40 ページ） **ご注意** 工場出荷時の自動電源 ON/OFF の設定は、お買い上げの地域により異なることがあります。		
	詳細設定*		曜日別に、1 時間単位で自由に自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。
		確定	自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、操作を確定し、前画面に戻ります。
		キャンセル	自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、操作を中止し、前画面に戻ります。
		全て解除	自動的に電源を入れたり、切ったりする時刻や曜日を設定した後に押すと、選択した時間を全て削除します。
	シンプル設定		1 分単位で詳細な自動電源 ON/OFF 時間を設定できます。
		自動電源ON	有効にすると、自動的に電源を入れる時刻と曜日を設定できます。
		自動電源OFF	有効にすると、自動的に電源を切る時刻と曜日を設定できます。
	オートオフ設定		電源を入れたあと、無操作のまま 2 時間、または 4 時間*が経過すると自動的に電源を切ることができます。
	OFF		自動電源 ON/OFF 機能は働きません。
時計設定	日付や時刻、カレンダー表示の開始曜日などを設定します。（14 ページ）		

*：工場出荷時の設定

項目	設定	内容	
本体設定	画像表示順	画像を表示する順番を設定します。設定した項目がスライドショー設定の再生順に反映されます。	
		撮影日時順	撮影日順に画像を表示します。 **ご注意** 動画ファイルの場合、撮影日時順は表示されません。
		画像番号順*	画像番号順に画像を表示します。
	自動縦横判別	本体の向きに合わせて表示を切り換える機能を ON * /OFF に設定します。	
	バックライトの明るさ	液晶画面のバックライトの明るさを 1 ～ 10 *のレベルで設定します。	
	操作音	操作確認音の ON * /OFF を設定します。	
	画像取り込みサイズ	リサイズ*	メモリーカードから画像を取り込む際に、画像をリサイズして内蔵メモリーに保存します。より多くの画像を保存できます。ただし、コンピューターなどを使用して大型モニターに表示した場合、元の画像よりも、画質が劣化します。
		原画サイズ	画像を圧縮せずにそのまま内蔵メモリーに保存します。画質の劣化はありませんが、保存できる画像の枚数が少なくなります。
	HDMI 機器制御（DPF-XR100/XR80 のみ）	HDMI 端子に接続したテレビのリモコンで操作する機能を ON * /OFF に設定します。 ［ON］を選んだ場合、本機の HDMI 端子にテレビを接続すると、自動的にビデオモードに切り換わり、接続したテレビの画面に画像が表示され、テレビのリモコンで操作できるようになります。	
	Sony ロゴ点灯	本機の Sony ロゴの点灯を ON * /OFF で設定します。	
本体情報表示	バージョン	本機のファームウェアのバージョンが表示されます。	
	内蔵メモリー	総容量	初期状態において内蔵メモリーで利用可能な最大容量が表示されます。
		残容量	現在使用可能な内蔵メモリーの空き容量が表示されます。

* : 工場出荷時の設定

次のページにつづく

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>言語
設定</td><td colspan="2">液晶画面に表示される言語を設定します。
日本語*／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／韓国語／中国語(簡体字)／中国語(繁体字)／オランダ語／ポルトガル語／アラビア語／ペルシア語／ハンガリー語／ポーランド語／チェコ語／タイ語／ギリシャ語／トルコ語／マレーシア語／スウェーデン語／ノルウェー語／デンマーク語／フィンランド語
ご注意
工場出荷時の言語設定は、お買い上げの地域により異なることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">工場出荷状態に戻す</td><td>内蔵メモリーの初期化</td><td>内蔵メモリーを初期化します。
ご注意
• 初期化を実行すると、内蔵メモリーに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
• コンピューターなど他の機器を使って初期化しないでください。</td></tr>
<tr><td>設定の
初期化</td><td>全ての設定値を工場出荷時の設定に戻します。
ただし、時計設定の日付と時刻の設定は保持されます。</td></tr>
</table>

*:工場出荷時の設定

ハイビジョンテレビに接続する
（DPF-XR100/XR80 のみ）

ハイビジョンテレビと接続する

本機は HDMI 出力が可能です。HDMI 入力があるテレビに接続すると、テレビでより高精細な画像を表示することができます。

「BRAVIA プレミアムフォト」について

本機は、「BRAVIA プレミアムフォト」に対応しています。「BRAVIA プレミアムフォト」とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。「BRAVIA プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビと本機を、HDMI ケーブル（別売）で接続すると、写真を今までなかった感動の Full HD 画質で楽しめます。

ご注意

元の画像によっては、高精細表示されない場合があります。

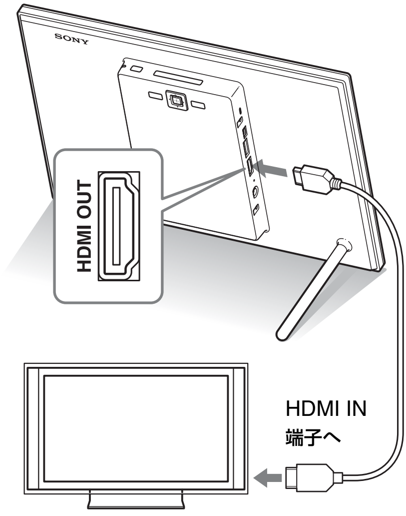
1 AC アダプターを本機につなぎ、AC アダプターをコンセントに差込む。（取扱説明書、「電源を入れる」）

2 市販の HDMI ケーブルを用意する。

ご注意

- HDMI ケーブルは 3m 未満のものをお使いください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをお使いください。
- 変換ケーブル、変換コネクターを用いた HDMI 以外のテレビ入力への接続は保証しておりません。

3 本機のHDMI OUT端子(A Type コネクター）と、テレビの HDMI IN 端子を接続する。



4 本機の電源を入れる。（13 ページ）

5 テレビの入力を切り換える。

本機を HDMI 機器制御対応のテレビに接続し、本機の電源を入れると、テレビがスタンバイの場合は自動的に電源が入ります。また、テレビの入力切換が自動的に切り換わり、画像と音声が出力されます。

ご注意

- すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。
- テレビに接続中は、本機の液晶画面の表示は消えます。
- HDMI ケーブルでテレビと接続している場合は、音声や操作音、アラーム音がテレビから出力され、本体からは出力されません。音量の調節は、ご使用のテレビの音量調節機能をご利用ください。

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

次のページにつづく

- テレビの設定で[HDMI機器制御]がOFFになっている場合、入力は自動で切り換わりません。設定方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 機器制御に対応していないテレビをお使いの場合、または、切り換わらない場合、手動でテレビの入力を切り換えて表示してください。
- 入力切換の操作方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 内蔵メモリーに追加、画像の書き出し、画像の削除の実行中は HDMI ケーブルを抜き差ししないでください。途中で HDMI ケーブルを抜き差しした場合、処理はキャンセルされます。

テレビのリモコンを使って操作する

HDMI 機器制御に対応したテレビの場合、テレビ付属のリモコンで本機の操作をすることが可能です。

ご注意

- すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。
- ソニー製テレビの場合は、リモコンに[リンクメニュー]ボタンがついているテレビ以外では、リモコンで操作はできません。
- 本機を操作するには、リモコンの ⇦/⇨/⇧/⇩[決定][戻る]ボタンが HDMI 機器制御に対応している必要があります。
- テレビの設定で[HDMI 機器制御]が OFF になっている場合はリモコンでの操作はできません。設定方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の[HDMI 機器制御]が OFF になっている場合はリモコンでの操作はできません。

テレビリモコンでのフォトフレームの基本操作

- 一覧表示や、メニューを表示中などカーソルが表示されている場合は、⇦/⇨/⇧/⇩ ボタンを押すと、カーソルが移動します。
- 一枚表示中などカーソルが表示されていない場合は、⇧ ボタンを押します。画面に、本体の操作部分の形をした操作パネルが表示されますので、押したいボタンを ⇦/⇨/⇧/⇩ ボタンで選択して、[決定] ボタンを押します。



- 操作パネルを消すには、画面の操作パネル右上の ✕ を選択するか、本機またはリモコンの戻るボタンを押します。

ご注意

リモコン操作では、下記の操作はできません。
- 拡大／縮小
- トリミング保存
- 内蔵メモリーに取り込み／書き出し／絞り込み表示／マーク操作／削除
- BGM 選択／ BGM 取り込み／ BGM 削除

HDMI 機器制御について

本機では、［HDMI 機器制御］が［ON］の状態で、以下の機能を使用することができます。

- テレビと連動して本機の電源を切ることができます。
- テレビに接続後、本機の電源を入れるか、電源が入った状態の本機をテレビに接続することで、テレビの入力をフォトフレームに切り換えることができます。この際、テレビがスタンバイ状態の場合には連動して電源が入ります。
- テレビのリモコンを使用して本機の操作を行うことができます。
- 本機とテレビが接続された状態で、テレビの表示言語を切り換えると、連動して本機の表示言語を切り換えます。

ご注意

ご使用のテレビがそれぞれの機能をサポートしている必要があります。

「ブラビアリンク」について

「ブラビアリンク」とは HDMI のコントロール信号を使用して、「ブラビア」のリモコンで連動操作ができるソニー商品の機能名称です。

本機と「ブラビアリンク（リンクメニュー対応）」の「ブラビア」を HDMI ケーブルで接続すると、「ブラビア」のリモコンで連動操作ができます。

外部機器を接続して操作する

本機とマスストレージ対応のデジタルカメラ、USB メモリー、フォトストレージを接続し、メモリーカード同様いろいろな機能をお楽しみいただけます。

ご注意

- すべての外部機器との接続を保証するものではありません。
- 内蔵メモリーの再生中､USB A 端子に外部機器を接続すると､表示するデバイスは外部機器に切り換わります。

1 **AC アダプターを本機につなぎ、コンセントに差し込む。（取扱説明書、「電源を入れる」）**

2 **デジタルカメラや外部機器の設定をマスストレージ接続モードにする。**

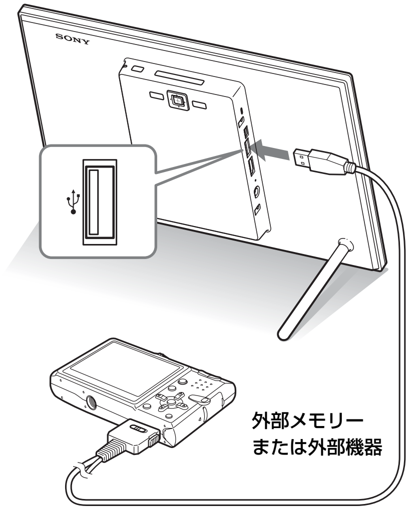
接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラや外部機器によって異なりますのでデジタルカメラや外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。（Cyber-shot をご使用の場合は、USB 接続を［標準］または、［MassStorage］に設定します。）

3 **本機の電源を入れる。（13 ページ）**

4 **デジタルカメラや外部機器を本機の USB A 端子に接続する。**

デジタルカメラや外部機器に付属されている USB ケーブルを使って、本機に接続してください。

次のページにつづく



5　再生デバイス選択で外部機器を選ぶ。（32 ページ）

デバイス内の画像が表示されます。
スライドショーを行いたい場合は 24 ページ、内蔵メモリーに追加を行いたい場合は 30 ページをご覧ください。

ご注意

- 市販の USB ケーブルをお使いになる場合は、長さ 3m 未満の A-Type の USB ケーブルをお使いください。
- 外部機器のアクセスランプが点滅中に、USB ケーブルを抜いたり、本機および外部機器の電源を切らないでください。外部機器内のデータが破損する場合があります。データの破損、消失については責任を負いかねます。
- USBハブや、USBハブを内蔵したUSB機器は正常に動作しない場合があります。
- 指紋認証やパスワードなどによって暗号化、圧縮された USB 機器のデータは、本機ではご使用になれません。
- USB ケーブルは、USB ロゴの付いたものをご使用ください。

コンピューターに接続する

本機とコンピューターをつなぎ、コンピューターから本機の内蔵メモリーの画像を閲覧、コピーしたり、コンピューターの画像を本機にコピーすることができます。

必要なシステム構成

本機と接続してお使いになるには、以下の推奨動作環境を満たしたコンピューターが必要です。

■ Windows

推奨 OS: Microsoft Windows 7/Windows Vista SP2/Windows XP SP3

ポート USB ポート

■ Macintosh

推奨 OS: Mac OS X（v10.4 以降）

ポート USB ポート

ご注意

- 1 台のコンピューターに複数の USB 接続をしたり、またはハブを使用した場合は、不具合が発生することがあります。
- 同時に接続された他のUSB機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中はUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。
- USB 接続については、コンピューターおよび、ソニー製デジタルフォトプリンターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。
- USB A 端子に USB メモリーまたは外部機器を接続しているときに、同時に ψ USB mini-B 端子とコンピューターを接続しないでください。

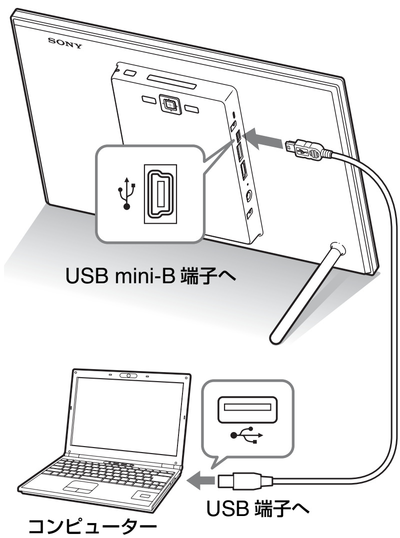
コンピューターの画像を本機にコピーする

ご注意

- Microsoft Windows Vista での接続例です。お使いの OS により、画面表示、操作方法は異なることがあります。
- コンピューター上で[読み取り専用]属性に設定されている画像は、本機では削除できません。本機にコピーする前に属性を変更してください。

1 AC アダプターのプラグを本機につなぎ、AC アダプターをコンセントに差し込む。（取扱説明書、「電源を入れる」）

2 コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する。



ご注意

USB ケーブルは、長さ 3m 未満の mini B-TYPE をお使いください。

次のページにつづく

コンピュータを使う

3 **本機の電源を入れる。（13 ページ）**

4 **コンピューターの画面に［自動再生］画面が表示されたら、［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックする。**

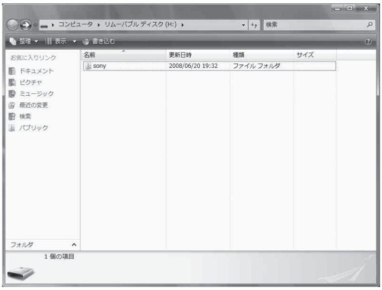
［自動再生］画面が表示されない場合は、「コンピュータ（マイコンピュータ）」からリムーバブルディスクを選び、開いてください。

ちょっと一言

- 本機はコンピューター上でリムーバブルディスクとして表示されます。
- コンピューターとの接続中は、本機上に  が表示されます。

5 **カーソルをウィンドウの中に移動して右クリックし、［新規作成］－［フォルダ］をクリックする。**

作成したフォルダーに名前をつけます。ここでは仮に「sony」としています。



6 **作成した「sony」フォルダーを開く。**

7 **コピーしたい画像ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで「sony」フォルダーにファイルをコピーする。**

ご注意

- コンピューターから本機の内蔵メモリーにコピーされた画像は、圧縮されずに保存されます。そのため、本機の内蔵メモリーに保存できる画像の枚数が少なくなる場合があります。
- コンピューターから内蔵メモリー上にフォルダーを作成せずに画像をコピーすることもできますが、その場合に保存できる画像ファイル数は最大 512 枚になります。ファイル名の長さや文字の種類によっては、保存できる枚数がさらに少なくなる場合があります。
- コンピューター上で画像ファイルを編集または保存すると、撮影日時の情報が変更されたり失われる場合があり、インデックス表示などが撮影日時の順番で表示されないことがあります。
- コンピューター上で作成、加工した画像ファイルは、本機で表示できない場合があります。

コンピューターとの接続を切断する

以下の手順でコンピューターとの接続を切断してから USB ケーブルを抜いたり、本機の電源を切ってください。

1 **タスクトレイの （切断）をダブルクリックする。**

2 **（USB 大容量記憶装置デバイス）→［停止］をクリックする。**

3 **取りはずすデバイスを確認して、［OK］をクリックする。**

エラーメッセージが表示されたら

本機の液晶画面に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。以下に従って対処してください。

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／外部機器がありません。	• メモリーカードがそれぞれのスロットに入っていません。または外部機器が USB A 端子に接続されていません。メモリーカードをそれぞれのスロットに入れてください。または、外部機器を接続してください。（15、49 ページ）
非対応メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／外部機器が挿入されています。	• 非対応のメモリーカードが挿入されています。または、USB A 端子に非対応の外部機器が接続されました。本機に対応しているメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
画像がありません。	• メモリーカードまたは外部機器内に本機で表示できる画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードまたは外部機器をお使いください。 **ご注意** 音楽ファイルのみ入ったメモリーカードを挿入したときも、このエラーメッセージが表示されます。
プロテクトファイルは削除できません。	• プロテクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラやコンピューターでプロテクト設定を解除してください。
プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう 1 度実行してください。	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。（61 ページ）
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリー／外部機器が容量不足です。	• メモリーカードや内蔵メモリー、外部機器の容量が一杯のため、追加保存できません。画像を削除するか、容量のあるメモリーカードまたは外部機器をお使いください。

次のページにつづく

<table>
<tr><th>エラーメッセージ</th><th>意味／処理</th></tr>
<tr><td>メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリー／外部機器にエラーがあります。</td><td rowspan="2">• 何らかのエラーが発生しています。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードまたは外部機器の状態をご確認ください。
*外部機器の場合
外部機器が書込み禁止になっている可能性があります。お使いの機器の書込み禁止設定を解除してください。デジタルカメラの内蔵メモリーは、書込み禁止の場合があります。
*内蔵メモリーの場合
内蔵メモリーの初期化を行ってください。
ご注意
初期化を実行すると、内蔵メモリーに取り込んだ画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。</td></tr>
<tr><td>メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／内蔵メモリー／外部機器への書き込みエラーです。</td></tr>
<tr><td>読み出し専用のメモリースティックです。</td><td>• 読み出し専用の“メモリースティック”が挿入されています。書き出しをおこなうには、書き込みのできる“メモリースティック”を挿入してください。</td></tr>
<tr><td>メモリースティックは保護されています。</td><td>• 保護されている“メモリースティック”が挿入されています。画像の編集、保存を行う場合は、お手持ちの機器で保護を解除してください。</td></tr>
<tr><td>サポートしていないフォーマットです。</td><td>• メモリーカードの場合は、ご使用のデジタルカメラなどで初期化してからご使用ください。
• 内蔵メモリーの場合は、本機で初期化してください。
ご注意
初期化すると中のファイルは全て削除されます。</td></tr>
<tr><td>この画像を開くことができません。</td><td>• 本機でサポートしていないフォーマットの画像ファイルは、本機では表示したり開くことができません。</td></tr>
<tr><td>USB ハブをこれ以上接続しないでください。</td><td>• 本機に直接接続するか、USB ハブを内蔵していない機器をお使いください。</td></tr>
<tr><td>非対応の USB 機器が接続されました。接続した機器の USB 設定を確認してください。</td><td>• マスストレージに非対応の外部機器が接続されています。または外部機器の USB 設定がマスストレージに設定されていません。マスストレージ対応の外部機器をお使いになるか、USB 設定を確認して設定をマスストレージに変更してください。</td></tr>
</table>

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源

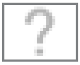
症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグは正しく差し込んでありますか？	→ 正しく接続してください。

画像を表示する

「電源は入っているが画像が表示されない。」または、「操作画面の設定ができない。」こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	• メモリーカードや外部機器は正しく接続されていますか？	→ 正しく接続してください。（15、49 ページ）
	• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？ • 外部機器には画像が保存されていますか？	→ 画像の入っているメモリーカードまたは外部機器を接続してください。 → 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。（取扱説明書、「主な仕様」）
	• ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？	→ DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
撮影日時順に表示されない。	• コンピューターから保存した画像ではありませんか？ • コンピューターで編集した画像ではありませんか？	→ コンピューター上で編集または保存すると、ファイルの撮影日時の情報が変更されたり、失われたりする可能性があります。
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で画像が表示されていますか？	→ インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、1 枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。 → DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。

次のページにつづく

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？  • コンピューターのアプリケーションで作成した画像ではありませんか？	→ 左のマークが表示されている場合は、コンピューターで作成した JPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。このマークを選択し、-✦- ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、表示はできません。
	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？ 	→ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。このマークを選択し、-✦- ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は表示はできません。
	• 内蔵メモリー、メモリーカードまたは外部機器内の画像枚数が 9,999 枚を超えていませんか？	→ 本機で再生、保存、削除など、扱える画像ファイル数は最大で 9,999 枚です。
	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• メモリーカードまたは外部機器内に 8 階層を超えるフォルダーがありませんか？	→ 8 階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。
ファイル名が正しく表示されない。	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、コンピューターなどで作成したファイルは、ファイル名の最初から最大 10 文字が表示されます。

画像を保存、削除する

症状	チェック項目	対処方法
保存できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• メモリーカードが一杯になっていませんか？	→ 不要な画像を削除してください。（34 ページ）または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。
	• 内蔵メモリーが一杯になっていませんか？	→ 不要な画像を削除してください。（34 ページ）
	• フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？	→ フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大 512 枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。
削除できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度削除してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• " メモリースティック -ROM" ですか？	→ " メモリースティック -ROM" については、画像の削除と初期化はできません。
	• プロテクトされた画像ではありませんか？	→ 一枚表示画面から撮影情報表示を確認してください。（21 ページ）マークのある画像は読み取り専用画像です。本機からは削除できません。
誤って消してしまった。	ー	→ 1 度削除したファイルは元に戻せません。

次のページにつづく

音楽を取り込む

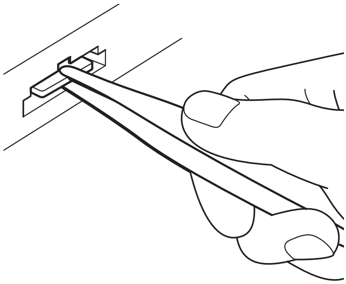
症状	チェック項目	対処方法
音楽ファイルが取り込めない。	• 音楽ファイルだけ入ったメモリーカードを挿入しましたか？ • 「画像がありません。」というエラーメッセージがでましたか？	→ 音楽ファイルだけ入ったメモリーカードを挿入した場合、「画像がありません。」というエラーメッセージが表示されます。カードを入れ換えず、そのまま -✦- ボタンを押してください。その後の操作は、「音楽を取り込む」（27 ページ）をご覧ください。

デジタルカメラなどの外部機器との接続

症状	チェック項目	対処方法
カメラを接続しても何も示されない。	• ケーブルが正しく接続されていますか？	→ ケーブルを正しく接続してください。
	• 本機の電源は入っていますか？	→ 本機とカメラ、両方の電源を入れてください。
USB ケーブルを抜き差ししても何も起こらない。	−	→ オーバーカレント（過電流）エラーが発生した可能性があります。 復帰するには、本機の電源をもう 1 度入れなおしてください。 → 本機では使用できない USB 機器の可能性があります。
テレビ画面、液晶画面のどちらにも表示されない	• テレビの入力切換が外部入力になっている	→ テレビの入力切換がフォトフレームになっていなくても、HDMI ケーブルが接続されている場合、テレビ画面にも液晶画面にも表示されない場合があります。 → テレビの入力をフォトフレームに切り換えるか、HDMI ケーブルを抜いて液晶画面表示に切り換えてください。 （DPF-XR100/XR80 のみ）

本体

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない。	−	→ 背面のリセットスイッチを細い物で押してください。（9 ページ）
起動しない	−	→ メンテナンスモードでシステムの初期化を行ってください。（29 ページ）

症状	チェック項目	対処方法
メモリーカードが取り出せなくなってしまった。	－	miniSD メモリーカードや microSD メモリーカード、メモリースティックマイクロを誤って挿入した場合、ピンセットなどの先の細い道具をお使いいただくことで取り出せる場合があります。 取り出す際には、道具で、本体やカードに傷がつかないように十分ご注意ください。無理に引き抜くと故障の原因になりますので、取り出せない場合は、ソニーの相談窓口へご相談ください。 

リモコン

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない	• 電池は入っていますか？	➔ 電池を交換してください。（10 ページ） ➔ 電池が入っていません。（10 ページ） ➔ 電池が正しく入っていません。（10 ページ）
	－	➔ リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。（10 ページ） ➔ 本体リモコン受光部の近くには物を置かないでください。
	• 保護シートが入っていませんか？	➔ 保護シートを引き抜いてください。（10 ページ）

メモリーカードについて

" メモリースティック "

本機でお使いになれる " メモリースティック "

本機では以下の"メモリースティック"をご使用になれます。[*1]

" メモリースティック " の種類	表示	削除・保存
" メモリースティック "[*2]（マジックゲート非対応）	○	○
" メモリースティック "[*2]（マジックゲート対応）	○ [*5]	○ [*5]
"マジックゲートメモリースティック "[*2]	○ [*5]	○ [*5]
" メモリースティック PRO" [*2]	○ [*5]	○ [*5]
" メモリースティック PRO-HG" [*2]	○ [*5*6]	○ [*5*6]
" メモリースティック マイクロ "[*3]("M2"[*4])	○ [*5]	○ [*5]

*1 本機は FAT32 に対応しています。32GB までのソニー製 " メモリースティック " で動作確認を行っています。ただし、すべての " メモリースティック " メディアの動作を保証するものではありません。

*2 本機には、スタンダード／デュオ サイズ対応スロットが搭載されています。" メモリースティック デュオ " アダプターなしで、標準サイズの " メモリースティック "、小型の " メモリースティック デュオ " のどちらでもご使用いただけます。

*3 " メモリースティック マイクロ"を本機でお使いの場合は、必ず"メモリースティック マイクロ"を"M2" アダプターに入れてからお使いください。

*4 "M2"は、"メモリースティック マイクロ"の略称です。本文では今後略称 "M2" を用いて記述します。

*5 著作権保護技術(" マジックゲート ")が必要なデータの読み込み、記録はできません。" マジックゲート " とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

*6 本機は、8 ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。

使用上のご注意

- 使用可能な"メモリースティック"についての最新情報は、ホームページ上の「" メモリースティック " 対応表」をご確認ください。（別冊「取扱説明書」裏表紙）
- 複数の"メモリースティック"を同時に挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- " メモリースティック マイクロ " を本機でお使いの場合は、必ず " メモリースティック マイクロ " を "M2" アダプターに入れてからお使いください。
- "M2" アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、" メモリースティック マイクロ " が取り出せなくなる可能性があります。
- デュオサイズの"M2"アダプターに"メモリースティック マイクロ " を入れ、それをさらにメモリースティック デュオアダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。
- "メモリースティック"を初期化するときは、ご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。コンピューターでフォーマットした場合、画像が表示されないことがあります。
- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

SD メモリーカード

本機では下記をご使用になれます。

- SD メモリーカード*1
- miniSD カード、microSD カード（アダプターが必要です）*2
- SDHC メモリーカード*3
- miniSDHC カード、microSDHC カード（アダプターが必要です）*2
- SDXC メモリーカード*4
- MMC 規格メモリーカード*5

ただし、すべての SD メモリーカード、MMC 規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。

*1 2GB までの SD メモリーカードで動作確認を行っています。
*2 市販のカードアダプタによっては、裏面中央部に端子が出ているものがあります。本機では、このようなタイプのアダプターは正しく動作しない場合があります。
*3 32GBまでのSDHCメモリーカードで動作確認を行っています。
*4 64GBまでのSDXCメモリーカードで動作確認を行っています。
*5 2GBまでのMMC規格メモリーカードで動作確認を行っています。

使用上のご注意

著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。

xD-Picture Card

本機は、xD-Picture Card*6 をご使用になれます。ただし、すべての xD-Picture Card の動作を保証するものではありません。

*6 2GB までの xD-Picture Card で動作確認を行っています。

コンパクトフラッシュカード（DPF-XR100/XR80 のみ）

本機では下記をご使用になれます。

- CompactFlash Memory Card（Type I/Type II）または CF+Card（Type I/Type II）準拠のコンパクトフラッシュカード*7

また、市販のコンパクトフラッシュカードアダプター*8 をお使いになることにより、スマートメディアをご使用になれます。
ただし、すべてのコンパクトフラッシュカードの動作を保証するものではありません。

*7 コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が 3.3V あるいは、3.3V/5V のものをお使いください。5V 専用、または 3V 専用のタイプは、お使いになれません。対応以外のメモリーカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。32GB までのコンパクトフラッシュカードで動作確認を行っています。
*8 市販のコンパクトフラッシュカードアダプターをお使いの場合は、取り付け方法、使用方法については、アダプターの取扱説明書をご覧ください。アダプターによっては、メモリーカードのライトプロテクトをすると正しく動作しない場合があります。

カード使用上のご注意

- 正しい挿入方向や正しいスロットをお確かめのうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- メモリカードを挿入するとき、無理な力を加えると、メモリーカードまたは本機を破損するおそれがあります。
- データの読み込み、書き込み中、アクセス中に、メモリーカードを抜かないでく

次のページにつづく

ださい。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。

- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- コンピューターで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアが搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱の CD-ROM に記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。

ライセンス内容は、CD-ROM の「License」フォルダにある「NOTICE.html」をご覧ください。

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下の GNU General Public License（以下「GPL」とします）または GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウエアが含まれています。お客様には、添付の GPL/LGPL の条件にしたがい、これらソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Web で提供しております。

ダウンロードする際には、以下の URL にアクセスし、モデル名「DPF-XR100/XR80/VR100」をお選びください。

URL：http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

索引

アルファベット順

五十音順

この説明書は VOC(揮発性有機化合物)
ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/ Printed in China